

蚊に刺されて起こる 感染症に注意しましょう!

対策してる?



蚊が媒介する病気を予防するには、
蚊に刺されないようにすることが大切です。



対策1 蚊に刺されない

日中はヒトスジシマカが活発に活動するので、屋外で活動する場合には、できるだけ次のような対策をしましょう。

- 肌の露出の少ない長袖、長ズボンを着用する
- 白など薄い色のシャツやズボンを選ぶ
(蚊は色の濃いものに近づく傾向がある)
- 露出する部分には虫除けスプレーなどを使い、
蚊を寄せ付けないようにする
- 蚊取り線香などを使って蚊を近づけない etc



対策2 蚊の発生を抑える

デング熱等の蚊が媒介する感染症の発生を防ぐためには、
ヒトスジシマカの発生を抑えることが大事です。

- 家の周囲の不要な水たまりをチェックし、除去しましょう。

- 植木鉢の水受け
バケツ
屋外に放置されたペットボトルや空き缶など
雨ざらしのじょうろ etc



ヒトスジシマカの成虫
は雑木林や竹林などに生息し、屋外に置かれた植
木鉢の受け皿や空き缶、
ペットボトル等に溜まった
水に産卵します。

家の周囲を点検して不
要な水たまりをなくしま
しょう!



海外旅行 をされる方へ

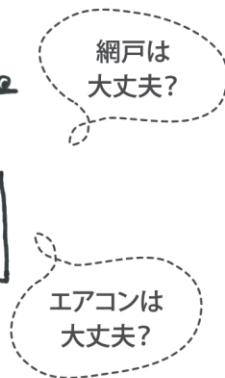
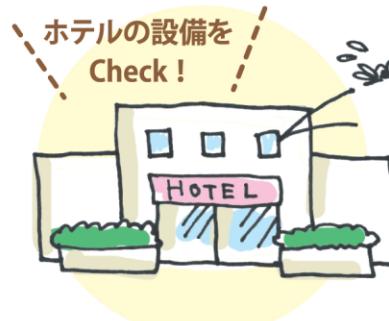


渡航先での注意

可能な限り、しっかりと網戸がとりつけられているか、エアコンが備わっている、または、蚊をしっかりと駆除しているホテルやリゾートにご滞在ください。蚊取り線香も有効です。

海外で蚊に刺されたら？

海外で蚊に刺されて、熱が出た場合はできるだけ早く医療機関を受診してください。帰国時に心配なことがあれば、検疫所の担当者にご相談下さい。帰国後に医療機関を受診する時には、医師に、渡航先や渡航期間、渡航先での活動などについて、詳しくお伝えください。



蚊が媒介する主な感染症

あなたの渡航先、症状は大丈夫？

| 感染症 | 症状 | 発生地域 | ワクチン・予防薬 |
|---------------|--|------------------------------------|---------------------------|
| ジカウイルス 感染症 | 発熱（多くは 38.5 度以下）、関節痛、発疹。感染しても症状がないか、症状が軽いため気付きにくいこともあります | 中南米・カリブ海地域、オセアニア太平洋諸島、アフリカ、アジア | |
| デング熱 | 急激な発熱、発疹、頭痛、骨関節痛、筋肉痛、嘔気・嘔吐 | 東南アジア、中南米、アフリカ、オセアニア等 | なし |
| チクングニア熱 | 突然の発熱、関節痛、発疹、関節腫脹を伴う場合あり。急性症状が治まった後も、関節炎が再燃することがある | アフリカ、東南アジアや南アジア、カリブ海地域、米国、中米、太平洋諸島 | |
| 日本脳炎 | 発熱、頭痛、吐き気、嘔吐、めまい、意識障害 | 日本、中国、東南アジア、南アジア | 日本脳炎ワクチンがあり |
| マラリア | 発熱、悪寒、倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛 | アジア、アフリカ、中南米 | 予防薬はいくつもあり。流行地へ旅行前に専門医に相談 |

※ 妊婦のジカウイルス感染と胎児に「小頭症」などの症状が表れるとの関連性が疑われており、世界保健機構 (WHO) は、妊娠は流行地域への渡航を控えるように勧告しています。